

## 令和2年度事業報告

### 1. 目的

住まいは生活に不可欠な基盤であり、住まいに対して求められる条件は、家族構成、通勤通学地、世帯収入、住まいに関する希望や考え方等が異なるため、多様化する住宅確保要配慮者に対する手厚い住宅セーフティネットが求められている。

また、鎌倉市では、高齢化が急速に進んでおり、高齢者の居住の安定の確保が喫緊の課題となっており、市民意識調査においては、鎌倉市民のうち過半数の方が住み慣れた地域で住み続けることを希望している。

さらに今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、職や住まいを失う（恐れのある）方の対応が急増した。

これらを踏まえ、住宅確保要配慮者向け住宅の供給促進、円滑な入居方策、生活支援等について関係者が協議・連携して行動することで、住宅確保要配慮者の居住の円滑化と生活の安定確保をきめ細かな対応で実現することを目的に、以下の事業を実施した。

### 2. 令和2年度事業の概要

協議会では、上記目的を達成するため、令和2年度において、次の業務を行った。

#### (1) 総会、幹事会、部会の開催

##### 1) 定期総会

◆開催日 : 令和2年5月27日(水)

◆議案 : 事業計画案・予算案について審議・承認。

##### 2) 幹事会(全6回)

###### ①開催概要

	日程	テーマ
第1回 (書面)	令和2年5月11日(月)	幹事の選任、事業計画・予算について
第2回	令和2年7月3日(金)	・幹事会で作成するガイドブックの作成について ・「福祉関係者向けガイドブック」の内容検討①
第3回	令和2年7月27日(月)	「不動産店向けガイドブック」の内容検討①
第4回	令和2年8月25日(火)	「福祉関係者向けガイドブック」の内容検討②
第5回	令和2年10月2日(金)	「不動産店向けガイドブック」の内容検討②
第6回	令和2年11月12日(木)	・各種ガイドブックのまとめ ・研修会の企画について

## ②作成物

### i) 福祉関係従事者（ソーシャルワーカー）向けガイドブックの作成（一部委託）

幹事会での議論を通じて、地域でソーシャルワークに従事する職員を対象にした住まいの課題を解決するための情報や民間賃貸住宅を探す手順等を整理したガイドブックを作成した。

◆名称 : 「借りたくても借りられない人の住まい探しサポートブック」

[http://www.machikyo.or.jp/kyojyushien/kamakura/jigyou/guidebook\\_welfare\\_2020.pdf](http://www.machikyo.or.jp/kyojyushien/kamakura/jigyou/guidebook_welfare_2020.pdf)

◆発行部数 : 800部

◆配布先 : 市役所関係部署、市社会福祉協議会、地域包括支援センター、基幹相談支援センター等

### ii) 不動産店向けガイドブックの作成（一部委託）

貸主や不動産店にとって、居住支援は「貸主に負担がかかる」「面倒な事を押し付けられる」というイメージがあると聞く。改めて、生活支援の課題解決の一部を居住支援が担うことを強調しつつ、貸主や不動産店に浸透していない住宅確保要配慮者を支える地域の福祉サービスや相談窓口等の情報を掲載したガイドブックを、②と同様に幹事会の議論を通じて作成した。

◆名称 : 「貸主・不動産店も地域の担い手みんなで解決！つながるブック」

[http://www.machikyo.or.jp/kyojyushien/kamakura/jigyou/guidebook\\_estate\\_2020.pdf](http://www.machikyo.or.jp/kyojyushien/kamakura/jigyou/guidebook_estate_2020.pdf)

◆発行部数 : 800部

◆配布先 : 市内の不動産店および市役所住宅課等

なお、i) ii) いずれのガイドブックも、幹事をはじめ会員等の関係者から好評をいただき、当初の発行部数では不足、増刷して対応した。

## (2) その他の事業

### 1) 住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅等への入居支援（相談の実施：委託事業）

昨年度に引き続き、住宅確保要配慮者に対する住宅相談を実施。

相談事業者は公募し、業務委託契約を締結した。

昨年度作成した「相談対応マニュアル」を活用しながら、入居後の生活支援活動を含め、会員が連携した相談対応体制を構築しながら実施した。

◆選定事業者 : 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会

◆相談・入居実績（委託期間：令和2年8月3日～令和3年2月12日）

なお、件数には、重複した属性を含む。（外国籍で高齢者世帯、生活に困窮している障害者世帯等）

・相談 : 11件（高齢者世帯 : 7件、障害者世帯 : 1件、子育て世帯 : 0件、外国人世帯 : 0件、生活困窮世帯 : 2件、その他世帯 : 2件）

・相談完了 : 10件（高齢者世帯 : 6件、障害者世帯 : 1件、子育て世帯 : 0件、外国人世帯 : 0件、生活困窮世帯 : 2件、その他世帯 : 2件）

・うち転居 : 0件

◆参考資料 : 相談概要

## 2) 外国籍市民向けの生活支援ガイドブックの作成（委託）

住まいに関する困りごとを抱える外国籍の市民を対象に「住まい探しの手順」や「住まい方」、「生活上の相談窓口」等を掲載した多言語によるガイドブックを作成し、対象となる市民のみならず、会員や市役所内でも情報を共有できるよう、庁内関係窓口や市内の相談機関へ配布した。

◆委託先 : (NPO) かながわ外国人住まいサポートセンター

◆資料名称 : 「鎌倉でくらそう～すまいの多言語ガイドブック～」

[http://www.machikyo.or.jp/kyojyushien/kamakura/jigyuu/guidebook\\_Japanese.pdf](http://www.machikyo.or.jp/kyojyushien/kamakura/jigyuu/guidebook_Japanese.pdf)

(やさしい日本語版)

◆対応言語 : やさしい日本語、英語、中国語、タガログ語、ベトナム語、タイ語  
インドネシア語、ネパール語

◆発行部数 : 各言語 100 部 (計 800 部)

◆配布先 : 市役所関係部署 (地域共生課、高齢者いきいき課ほか)、相談機関等

## 3) 貸主、不動産店向け研修会の開催

幹事会で作成するガイドブックの内容と、日ごろから貸主・不動産店が住宅確保要配慮者の受け入れに対して感じている不安を軽減できる情報を提供するとともに、「かながわあんしん賃貸支援事業・協力店」への登録をよびかけた。

◆開催日時 : 令和 3 年 1 月 15 日 (月) 14 : 00～15 : 30

◆開催形式 : Zoom を活用したリモート開催

◆対象及び人数 : 12 名

### ◆内 容

時間	テーマ	講 師
14 : 00 ～ 14 : 30 ～	【講義】住宅確保要配慮者の入居支援における不安の解消	
	居室内事故の不安と解消方法	(一社) 日本少額短期保険協会
14 : 30 ～	居室内事故の予防	ホームネット (株)
15 : 10 ～	【情提提供】行政との連携による不安解消	
	市で実施する福祉サービス	鎌倉市ほか (※)

## 4) 福祉関係団体、生活支援団体等向け研修会の開催

幹事会で作成するガイドブックの内容を中心に、住宅確保要配慮者の生活を支援する福祉関係の専門職を対象に、住まい探しの流れや必要事項等の基礎知識を提供した。

◆開催日時 : 令和 3 年 1 月 16 日 (火) 14 : 00～16 : 00

◆開催形式 : Zoom を活用したリモート開催

◆対象及び人数 : 13 名

### ◆内 容

時間	テーマ	講師
14:00 ～	住まい探しの基本知識	(公社) 神奈川県宅地建物取引業協会
14:50 ～	不動産店と連携した生活支援	(一社) インクルージョンネットかながわ
15:20 ～		(NPO) かながわ外国人 すまいサポートセンター

#### 5) HPによる情報提供（運営管理を委託）

協議会の活動内容を、ホームページを通じて市民や関係団体等に周知した。

特に今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で住まいを失う恐れのある方等の支援情報を神奈川県居住支援協議会と情報共有を図りながら、HPで情報提供を行った。

◆参考 : 鎌倉市居住支援協議会HP

<http://www.machikyo.or.jp/kyojyushien/kamakura/>

以上

## 令和2年度決算書

### [収入の部]

(単位:円)

中科目	予算額(A)	決算額(B)	増減△は減(B-A)	備考
1 補助金・委託費収入	5,718,428	5,658,413	△ 60,015	
①共生社会実現に向けた住宅セーフティ ネット機能強化・推進事業(補助)	5,718,428	5,658,413	△ 60,015	国庫補助決定額 5,718,000円
3 雑収入	0	2	2	利息(横浜銀行)
2 借入金	500,000	500,000	0	かながわ住まいまちづくり協会から
4 前年度繰越金	1	1	0	
収入合計	6,218,429	6,158,416	△ 60,013	

### [支出の部]

(単位:円)

中科目	予算額(A)	決算額(B)	増減△は減(B-A)	備考
人件費	1,571,550	1,556,438	△ 15,112	
事務局人件費	1,571,550	1,556,438	△ 15,112	
旅費	8,000	6,740	△ 1,260	
交通費	8,000	6,740	△ 1,260	出張の効率化
庁費	4,138,878	4,095,235	△ 43,643	
賃金	92,400	22,050	△ 70,350	新型コロナウイルス感染 拡大のため出勤を制限
謝金	40,000	50,000	10,000	研修会のテーマ増
需用費	110,200	262,545	152,345	印刷経費の増
役務費	29,000	4,290	△ 24,710	研修会開催等をメール 送信で対応
委託費	3,803,000	3,719,850	△ 83,150	見積精査の結果
使用料及び賃借料	64,278	36,500	△ 27,778	市管理の無料施設の活用
予備費	1	0	△ 1	利息
償還金	500,000	500,000	0	かながわ住まいまちづくり協会へ
支出合計	6,218,429	6,158,413	△ 60,016	

### 単年度収支差額

収入額(C)	支出額(D)	収支差額(C)-(D)
6,158,416	6,158,413	3 (=次年度繰越金)